



EHIME



KAGAWA



四国 持続可能な観光 (サステナブルツーリズム) への取り組み



KOCHI

一般社団法人四国ツーリズム創造機構
四国「持続可能な観光」推進ネットワーク

TOKUSHIMA

CONTENTS

四国における持続可能な観光への取り組み	2
持続可能な観光 取り組み事例・プログラムマップ	3・4
持続可能な観光 取り組み事例・プログラム	
徳島	
① 教育旅行 そらの郷 山里物語（民泊体験） 三好市	5
② 阿波の藍染めと箸づくり体験 美馬市	6
③ 上勝町ゼロ・ウェイストセンター 上勝町	6
④ 四国の右下エリア（南阿波）サーフィン体験 海陽町	7
⑤ 南阿波 水床湾でのシーカヤック&スノーケリング 海陽町	7
⑥ アカウミガメのふるさと南阿波・恵比須浜でのSUP（スタンド・アップ・パドルボート） 美波町	8
香川	
① 永遠の名作「二十四の瞳」とSDGs講話 小豆島町	8
② SDGs海の豊かさを守ろうプロジェクト～海洋ゴミから学ぶ小豆島 二十四の瞳 汐江海岸清掃 小豆島町	9
③ 日本のオリーブ栽培発祥の地を核とした地域振興 小豆島町	9
④ 海の上を歩いてる!? SUPで小豆島を海から眺める海上散歩 土庄町	10
⑤ 高松丸亀町商店街 再開発 高松市	10
⑥ うどんをまるごと循環させる！ 廃棄うどんを「資源」に 高松市	11
⑦ 大名庭園のお掃除ボランティア体験と、中津万象園の成り立ちや課題を学ぶプログラム 丸亀市	12
⑧ 1本の竹から生まれる伝統的工芸品と環境問題からビジネス展開へ 丸亀市	12
⑨ 詫間牡蠣から考える持続可能な里海づくり 三豊市	13
⑩ 森林・竹林整備から学ぶ 森の未来 三豊市	13
⑪ 瀬戸内海 カヤック&SUP 体験 三豊市	14
⑫ バイオマス資源化センターみとよ施設見学 三豊市	14
愛媛	
① 次世代につながる環境学習をしよう!! 今治市	15
② 今治自然塾 環境教育プログラム 今治市	15
③ OZU STORIES 大洲城下町再生の物語 大洲市	16
④ 伝統工芸とSDGs！ 裂織り体験「オリコの里・コットン」 伊方町	17
⑤ 海の環境の大切さを学ぶ！ 海洋プラスチックを使ったアクセサリー作り体験 伊方町	17
⑥ 日本一の凧あげ体験 内子町	18
⑦ 五感で学ぶSDGs! 久万高原町	18
高知	
① 四万十川とトンボから考える「自然」と「人」との共生のかたち 四万十市	19
② 過去から未来へつなげる足摺宇和海国立公園の豊かな自然環境と生態系 土佐清水市	19
③ 生物多様性の宝庫「柏島の里海」から学ぶ「森・川・海」のつながり 大月町	20
④ 過去からの想いを未来につなぐ宿毛市の果樹栽培 宿毛市	20
⑤ 砂浜美術館のコンセプトから描く私たちの未来のデザイン 黒潮町	21
⑥ 防災学習プログラム 一命を守る 黒潮町	21
⑦ 日本唯一の津波避難シェルターを活用した環境・防災学習 室戸市	22
⑧ 室戸ユネスコ世界ジオパーク 海洋環境実習 室戸市	22



一般社団法人四国ツーリズム創造機構では、2020年から四国における「持続可能な観光（サステナブルツーリズム）」地域づくりを推進しています。特に観光分野における持続可能性を指標化した国際基準「Global Sustainable Tourism Criteria（GSTC）」や、観光庁が2020年に発表した「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」に基づいた取り組みを推進しております。

四国『持続可能な観光』推進ネットワーク

当機構では、四国全域が持続可能な観光地「サステナブルアイランド四国」を目指すため、市町村やDMO*を中心とした四国における持続可能な観光の推進組織「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」を2022年7月に立ち上げ、以下の点を意識して取り組みを推進しています。

* DMOとは、「Destination Management/Marketing Organization」の略で、地域と協同して観光地域づくりを行う法人

国際認証や日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用し、
四国を「持続可能な観光先進地域」としてブランド化を図る。

四国全体の取り組みとして連携して情報発信を行い、
効果的なプロモーションを実施する。

「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」に選出されました。

- 香川県小豆島町（2021、2022）
- 愛媛県大洲市（2022、2023）
- 徳島県三好市（2023）
- 香川県丸亀市（2023）



「グリーン・ディスティネーションズ シルバーアワード」を受賞されました。

- 香川県小豆島（2024）
- 愛媛県大洲市（2024）

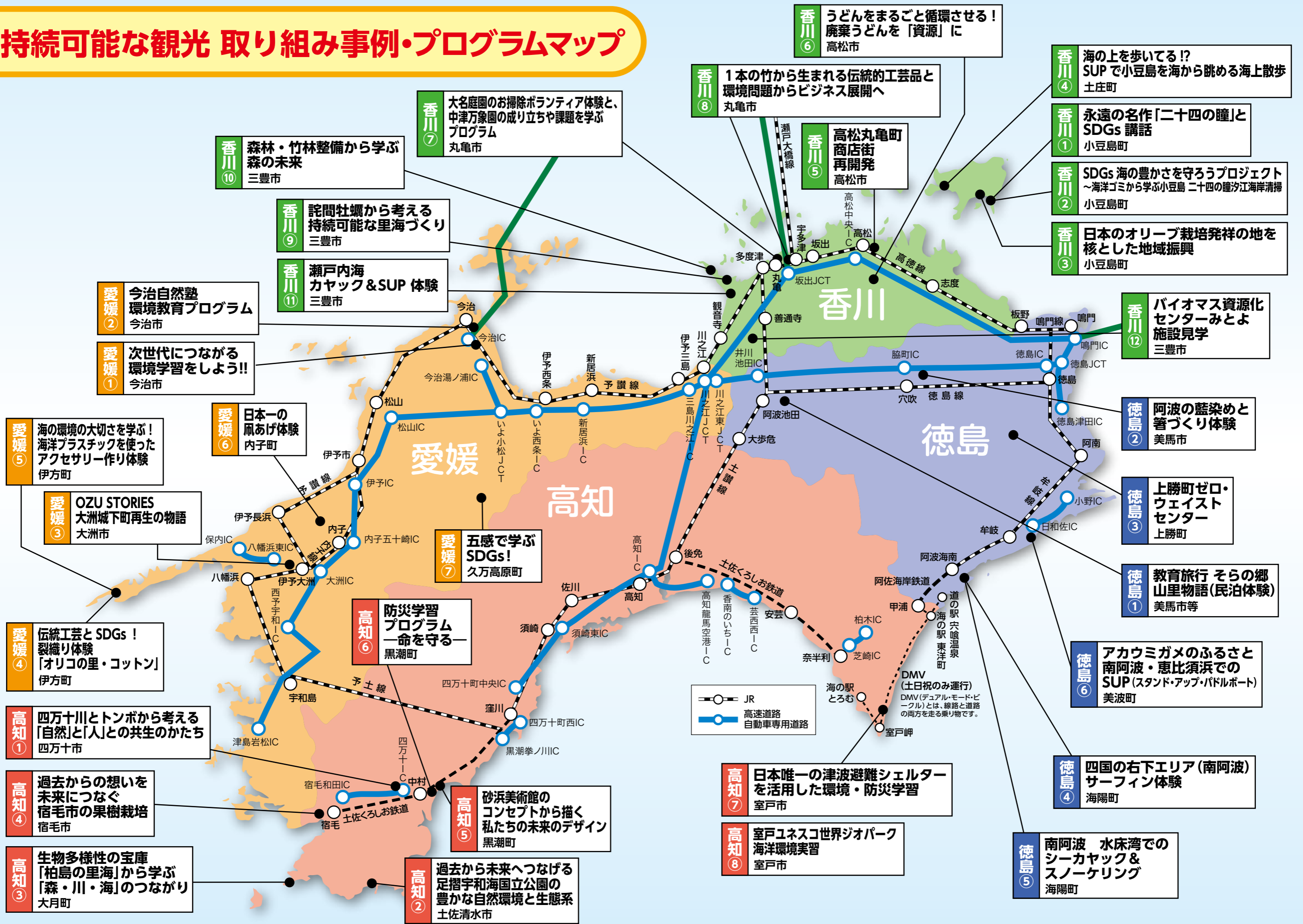


四国ツーリズム創造機構ホームページ内に、
ご紹介以外のコンテンツを紹介しております。

四国ツーリズム サステナブル 検索



持続可能な観光 取り組み事例・プログラムマップ



徳島① 教育旅行 そらの郷 山里物語 (民泊体験)



プログラムの概要・目的

「そらの郷」は、四国の中央に位置する2市2町(美馬(みま)市・三好市・つるぎ町・東みよし町)にあり、「大歩危・祖谷」や「剣山・吉野川」に代表される自然、歴史文化、伝説や伝承、さらに独自の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であるとともに、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

そらの郷の教育民泊家庭は受け入れ20年以上の歴史があり、その多くが山腹の急傾斜地に張り付くように形成される集落に存在し、「桃源郷」とも称される特有の文化的景観を形成しています。

生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みや玉ねぎ、ジャガイモ、雑穀の収穫など、サステナブルな自給的農業を協働したり、収穫した旬の野菜や山菜を使った田舎料理を共同調理したりすることにより、厳しさを豊かさに変える暮らしを学びます。

プログラムの流れ

【入村式】
生徒と受入家庭が対面し、その後各家庭へ移動します。

【家業体験・民泊体験】
農業を中心とした家業の体験や共同調理、民泊体験を行います。

※PBL×STEMプログラム(場合により):
フィールドワークやワークショップ、ディスカッションを行います。

【離村式】
各家庭から集合し、バスに乗り換えて次の目的地等へ向かいます。

【所要時間】1泊(家業体験:半日)
【開催時期】通年
【開催最少人数】基本的には学校単位です
【開催最大人数】350名
【金額】担当までお問い合わせください。



急峻な山々に囲まれた徳島県「にし阿波」では、素朴で温かみのある暮らしから生まれた独自の食文化や伝統技術が受け継がれています。ここでしかできない、採れたての食材を使った郷土料理や、農業体験などを通じた地域の人々との交流は、きっと、一生忘れられない思い出になるはずです。(担当:前田・福永・武田)

■お問い合わせ先
一般社団法人そらの郷
〒778-0005
徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL: 0883-76-0713
<https://nishi-awa.jp/soranosato/>



徳島② 阿波の藍染めと箸づくり体験



藍染体験だけでなく、四季折々に変化する藍畑や染料づくりの様子もご覧いただけることが、ここでの藍染体験の一番の魅力です。体験を通じて、より深く阿波藍や美馬の地域を知っていただければと思います。
(担当:高木)

プログラムの概要・目的

藍畑から染料の染(すくも)を作り、藍染めまで全てを手掛ける職人さんの工房での貴重な藍染体験と、徳島県産の木材の加工過程で出る端材を使った、世界に一つだけのマイ箸づくりを体験できます。このプログラムで体験できる藍染めは、伝統技法による藍染行程ではありません。四季折々の藍畑を間近に職人さんと交流できる、他地区にはない藍染体験です。

プログラムの流れ

まず、最初に、ハンカチサイズの藍染めを体験していただいた後、箸づくりを削りの練習から体験していただきます。追加料金により、ハンカチの藍染めのかわりに、スカーフや風呂敷、テーブルクロスなどの藍染体験も可能です。

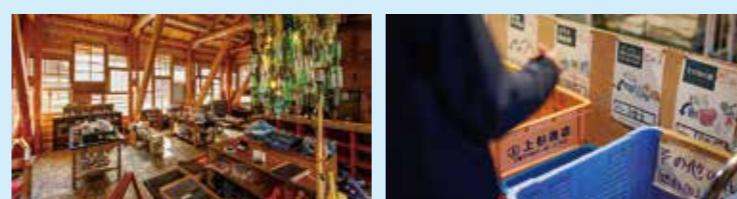
【所要時間】3時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】3名
【開催最大人数】20名
【金額】5,500円



■お問い合わせ先
一般社団法人美馬観光ビューロー
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町92
TEL: 0883-53-8599
<https://mimakankou.or.jp>



徳島③ 上勝町ゼロ・ウェイストセンター



まずは、当機構(イーストとくしま観光推進機構)まで、ご一報くださいませ。(担当:吉田、渡辺)

プログラムの概要・目的

上勝町は2003年に自治体として日本で初めての「ゼロ・ウェイスト(Zero=0、Waste=廃棄物)宣言」を行いました。「ごみをゼロにする=ごみをどう処理するか」ではなく、ごみ自体を出さない社会を目指し、上勝町ではごみ収集を行わず、生ごみなどはコンポストを利用し、各家庭で堆肥化。瓶や缶などのさまざまな「資源」を住民各自が「ごみステーション」に持ち寄って45種類以上に分別、「ゼロ・ウェイスト宣言」から17年経過した現在、リサイクル率80%を超えています。

一般、修学旅行、海外旅客いづれにもSDGsを学ぶうえで注目をされており、環境問題の大切さを学べます。またゼロ・ウェイストセンターでは、町民がグラスコップや衣類、その他勉強机などの大きな物まで不要になったもので使用できるものは、他の町民または町外の方でも無料で持ち帰ることができるシステムとなっています。

プログラムの流れ

○2015年、国連サミットで採択され、世界中に広がる「SDGs」のムーブメントは観光分野にもおよび、その達成に寄与するための「エコ ツーリズム」や「サステナブル ツーリズム」への関心が高まっています。SDGsの多くのターゲットとも合致しています。現地訪問により、その取り組みを実感していただくことができます。

○徳島の「探求素材1」の解説
上勝町ではゴミをださない!宣言で、分別してリサイクル率を上げる取り組みを2003年から実施。環境に優しく持続可能な取り組みを町が住民の理解を得て推進。現在では、ゴミを45の種類に分別し、リサイクル率は80%以上を達成。持続可能な取り組みは、観光分野でも重視され、世界的な旅行雑誌lonely planetで2022年のお勧め旅行先として世界の第6位に四国が選出され、お遍路と共にゼロウェイストタウンとして紹介されています。SDGsに対応するサステナブルな探求素材です。

【所要時間】1時間~
【開催時期】通年
【開催最少人数】10名
【開催最大人数】80名
【金額】2,500円~
※その他SDGsにかかわる体験プログラムもご用意しております。

■お問い合わせ先
イーストとくしま観光推進機構
〒770-0841 徳島県徳島市八百屋町2-7 徳島センタービル7F
TEL: 088-678-2811
<https://why-kamikatsu.jp/>



徳島④ 四国の右下エリア（南阿波）サーフィン体験



右の事例は参考例です。実施する内容をご予算・時間・人数等を考慮し、ご相談のうえ決定します。随時ご相談ください。
(担当：藤倉)

プログラムの概要・目的

JPSA日本プロサーフィン連盟所属プロサーファーの指導の下、太平洋の壮大な自然を体感しながら自然との共存を学ぶプログラム、サーフィン体験を提供しています。一度に体験できるのは約30名で、通常は3名につき1名のインストラクター、天候によっては2名につき1名またはマンツーマンで指導を行っています。実施ビーチについても、波のコンディションによってビーチを選択するなど、安全面に細心の注意を払い実施しています。

砂浜の多い南阿波は、波のコンディションも良く、サーフィンには最適。初心者でもチャレンジできるポイントも数多くあります。初心者向けの浮力のあるロングボードを用意して、初心者でも楽しめるプログラムになっています。

プログラムの流れ

更衣→自己紹介→注意事項説明（海・波・砂浜について自然環境保全の大切さを学習）→諸注意→準備運動→体験→片付け→更衣→まとめ

お問い合わせ先

一般社団法人四国の右下観光局教育旅行推進室
(南阿波よくばり体験)
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村14
TEL：0884-72-2622
<http://minamiawa.info/top/top.html>



【所要時間】2.5時間
【開催時期】5～10月
【開催最少人数】10名
【開催最大人数】30名
【金額】約7,000円



徳島⑥ アカウミガメのふるさと南阿波・恵比須浜でのSUP (スタンド・アップ・パドルボート)



右の事例は参考例です。実施する内容をご予算・時間・人数等を考慮し、ご相談のうえ決定します。随時ご相談ください。
(担当：藤倉)

プログラムの概要・目的

美波町大浜海岸はウミガメのふるさと。毎年数多くのウミガメが産卵のため上陸します。この大浜海岸の隣や近くには、風光明媚な海岸が点在します。大自然の中の海上散歩を楽しみながら、環境保護について学ぶプログラムを提供しています。

壮大な自然の中での太平洋の散歩。海から見る景色は、今まで見たことのない景色。風に吹かれながら心地よい時間を過ごすことができます。

1人乗りSUP、2人乗りSUP、8人乗りSUPなどに分かれて、班ごとに「NAUI JAPAN SPECIALTY INSTRUCTOR」の指導の下、太平洋の海上散歩に出かけます。

プログラムの流れ

更衣→自己紹介→注意事項説明→自然環境保全の大切さを学習→体験→片付け→更衣→まとめ

お問い合わせ先

一般社団法人四国の右下観光局教育旅行推進室
(南阿波よくばり体験)
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村14
TEL：0884-72-2622
<http://minamiawa.info/top/top.html>



【所要時間】2.5時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】10名
【開催最大人数】40名
【金額】約6,000円



徳島⑤ 南阿波 水床湾でのシーカヤック&スノーケリング



右の事例は参考例です。実施する内容をご予算・時間・人数等を考慮し、ご相談のうえ決定します。随時ご相談ください。
(担当：藤倉)

プログラムの概要・目的

南阿波には初心者でも無理なく乗りこなせる湾や入り江が多く、無人島や海岸の美しさを満喫しながら楽しめます。室戸南海岸国定公園の竹ヶ島海域公園内の散歩など、自然とふれあいながら環境学習ができるプログラムを「JRCA日本カヌー連名委託事業ジュニア公認指導員」などにより提供しています。

透明度の高い海でカラフルな魚やサンゴを観察することで海の世界を学びます。竹ヶ島はエダミドリサンゴ自生の北限といわれていて、数多くのサンゴも自生しており、サンゴの移植体験などを通して、海の世界を学びます。

竹ヶ島の近くには穴喰浦の化石蓮根（ししくいらのかせきれんこん）があり、数千年前の地殻変動によって隆起した地層などもあります。海中観察船（グラスボート）もあり、スノーケリングをしなくても、海上、海中両方から自然の営みを体感できるプログラムを提供しています。

プログラムの流れ

更衣→自己紹介→注意事項説明（海域公園についての説明など）自然環境保全の大切さを学習→器材取り扱い説明等→カヤック操作説明→体験→片付け→更衣→まとめ

お問い合わせ先

一般社団法人四国の右下観光局教育旅行推進室
(南阿波よくばり体験)
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村14
TEL：0884-72-2622
<http://minamiawa.info/top/top.html>



【所要時間】2.5時間
【開催時期】4～11月
(スノーケリング5～10月)
【開催最少人数】10名
【開催最大人数】40名
(各20名)
【金額】約4,000円



香川① 永遠の名作「二十四の瞳」とSDGs講話



1952年に世に出た壺井栄著「二十四の瞳」には、すでに今、世界が持続可能な世界を目指して掲げたSDGsの事柄が多く含まれており、1.貧困をなくそう、2.飢餓をゼロに、4.質の高い教育をみんなに、5.ジェンダー平等を実現しよう、10.人や国の不平等をなくそう、16.平和と公正をすべての人に、を本の中より読み取ることができます。自分の力では抗うことができないものに当たったとき、人は一層優しくなければならぬし、困った人に寄り添うことが必要であるのだと説いています。
(担当：原田)

プログラムの概要・目的

作家壺井栄の小説「二十四の瞳」は児童文学として世界で多くの方に読まれています。根底にある反戦・平和・平等について壺井栄文学館館長による平和学習講和、不朽の名作として映画「二十四の瞳」を通して、社会においての人間性や関係性がいかに大切であるか、また、小豆島において映画をはじめ数多くの映像ロケが行われているので、海洋ゴミを減らす清掃活動について、専務理事のSDGs講話プログラムがあります。
(教育効果)

壺井栄作品を通して、戦争がいかに愚かな行為であるか等平和を学ぶ機会になり、映画を通して原作者・監督が伝えたかったこと、そして『二十四の瞳』という作品が1954年からじつに11回も映像化されている訳、小豆島に沢山の映画を含めて映像ロケが後を絶たない理由などを通してSDGsと絡め、社会における人間性や関係性の大切さを学ぶ機会になります。

プログラムの流れ

○平和学習講和（所要時間約15分）
壺井栄文学館館長
○二十四の瞳とSDGs講話（所要時間約30分）
二十四の瞳映画村 専務理事

お問い合わせ先

二十四の瞳映画村
〒761-4424 香川県小豆郡小豆島町田浦甲931
TEL：0879-82-2455
<https://www.24hitomi.or.jp/>



【所要時間】45分
【開催時期】通年
【開催最少人数】1回に10名まで
【開催最大人数】1回に60名まで
【金額】会場費10,000円



香川② SDGs海の豊かさを守ろうプロジェクト ～海洋ゴミから学ぶ小豆島 二十四の瞳夕江海岸清掃



海洋ゴミを身をもって収集することを通して、日本・世界の海ゴミに対して関心をもってもらうことは地球で生活する上で大切なこと。日本はプラスチックゴミは世界第二位。海洋ゴミは年間800万t。そのうち92%がプラスチックゴミ。瀬戸内海の海洋ゴミは年間4500tです。うち、31%はボランティア等で回収、16%は海底へ、53%は他の海へ流出しています。今まで世界中が便利ということを優先してきましたが、今からは環境と一緒に物事を考える時代になりました。12.つくる責任つかう責任、14.海の豊かさを守ろう、を一緒に実践しましょう。(担当：原田)

プログラムの概要・目的

SDGs海の豊かさを守ろうという趣旨で二十四の瞳映画村の夕江海岸(約300m)の海洋ゴミ拾いを行います。
(教育効果)

ゴミの分別をしながら清掃活動を行うと、いかに自分たち人間が捨てたモノが海を汚しているかを目の当たりにすることができると同時に、班やチームで活動する楽しみ、きれいになった海岸を見た時の達成感の実感など多くのことを学べるプログラムです。一般企業の新人研修プログラムとしても人気があります。

プログラムの流れ

- 実施期間 / 3月中旬～12月初旬まで(冬季は風向き関係でゴミが少ないので)
- 1日1回限定 1回に10名～120名までの受け入れが可能
- 分別用ゴミ袋・掃除道具・軍手などは無料貸出
- 服装 / ゴミ拾いが可能な服装
※清掃活動後、平和学習講和・二十四の瞳SDGs講和とのセットでの組み合わせが人気です。

【所要時間】 約1時間
【開催時期】 3月中旬～12月初旬
【開催最少人数】 1回に10名
【開催最大人数】 1回に120名
【金額】 無料(但し、映画村入場する方に限る)

■お問い合わせ先
二十四の瞳映画村
〒761-4424 香川県小豆郡小豆島町田浦甲931
TEL: 0879-82-2455
<https://www.24hitomi.or.jp/>



香川③ 日本のオリーブ栽培発祥の地を核とした地域振興



講話では、余すところなく活用しているオリーブの機能性について学ぶことができるとともに、11月限定のオリーブの収穫体験では本場の搾りたてのエキストラバージンオリーブオイルの試飲が可能です。(担当：佐伯)

プログラムの概要・目的

持続可能な観光を推進していくための取り組みとして、2022年に選出された「世界の持続可能な観光地100選」のベストプラクティスストーリーを中心とした講話と現地研修、オリーブの収穫体験を実施します。

プログラムの流れ

- ①ベストプラクティスストーリーを中心とした講話
- ②オリーブの剪定枝を活用した堆肥化等、循環型農業の現地見学
- ③オリーブの収穫体験と搾りたてオリーブオイルの試飲
※①～③の組み合わせも可能

【所要時間】 30分～1時間
※ショッピングの時間は別途
【開催時期】 ①、②は通年 ③は11月のみ
【開催最少人数】 10名
【開催最大人数】 50名
【金額】 ①、②は各100円 ③は500円

■お問い合わせ先
道の駅 小豆島オリーブ公園
〒761-4434 香川県小豆郡小豆島町西村甲1941-1
TEL: 0879-82-2200
<https://www.olive-pk.jp>



香川④ 海の上を歩いている!? SUPで小豆島を海から眺める海上散歩



小豆島の海の透明度は高い、無人島をぐるっと回ったり、吊り橋をくぐったり、迫力のある岩肌を眺めたり、見どころがたくさんあります。SUPならではの、立って漕ぐ視線はまさに海の上を歩くような感覚になります。地元のインストラクターから海上で小豆島の歴史や、魅力などの話を聞くことができます。ゴミは主に牡蠣の養殖で使用するプラスチックゴミ、流木、シーグラスなど。瀬戸内海は牡蠣の養殖が盛んですので、瀬戸内ならではの問題を遊びで楽しく解決できたらと思います。(担当：大川)

プログラムの概要・目的

小豆島の北側に位置する小部に拠点置く「シマアンビ」で体験できるSUPクルージング。山と海の距離が近い、建物など視界の邪魔になるものが少ない、採石場の岩肌の迫力など小豆島らしい景色を楽しめるのは島の北側ならでは! そんな景色をまるで海を歩いているような感覚にさせてくれるSUPでのクルージングを楽しんでいただけます。
(教育効果)

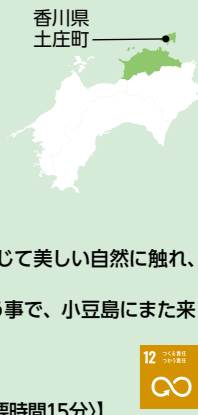
自然の中(特に海)で全力で遊ぶこと。遊びを通じて美しい自然に触れ、自然を守り残していく意義を知ることができます。
また、この体験から小豆島のファンになってもらう事で、小豆島にまた来たい、いつか住みたいと思って欲しいです。

プログラムの流れ

- 【乗り方・漕ぎ方レクチャー&ウォーミングアップ(所要時間15分)】 SUPA(日本SUP協会)認定インストラクターによる陸上での説明を行います。
- 【クルージング(所要時間70分)】 ビーチSTART→無人島→採石場→吊り橋→ビーチGOAL ※天候によりルート変更あり
- 【記念撮影(所要時間5分)】
- 【アート工作・座学】 SUP時に拾ったゴミや浜に流れ着いたゴミを拾って(ビーチクリーン)アートを作る工作体験。主要なゴミについての説明も座学として実施。

【所要時間】 約2時間
【開催時期】 5月～10月
【開催最少人数】 10名
【開催最大人数】 30名
【金額】 要相談

■お問い合わせ先
シマアンビ
〒761-4146 香川県小豆郡土庄町小部303-3
TEL: 0879-67-3040
<https://shimaasobi.jp/>



香川⑤ 高松丸亀町商店街 再開発



- ・商店街の生産性を高める「土地問題」の解決
- ・商店街のライフインフラの整備
- ・商店街の自転車の乗り入れを禁止

(担当：香川)

プログラムの概要・目的

全国の商店街が衰退していく中、民間主導による再開発計画により活気ある街に蘇らせつつある商店街の取り組みをご紹介します。

プログラムの流れ

- 【座学】
- ①会議室で高松丸亀町商店街の再開発の取り組み事例をご説明
- ②質疑応答
- ③簡単な現場案内 ※現場にて解散
- ④自由散策

【所要時間】 2時間程度
※時間については、ご希望により調整いたします。
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 特になし
【開催最大人数】 座学は一度に最大100名程度まで ※大きな会議室が確保できれば最大約100名程度。会場の空き状況や、説明者のスケジュール等により、ご希望の日程でお受けできない場合があります。

【金額】 公務員・民間企業・共同組合等 : 1名 2,200円
学生(小学生・中学生・高校生・大学生) : 無料

■お問い合わせ先
高松丸亀町商店街振興組合
〒760-0029 香川県高松市丸亀町13-2 丸亀町ビル4F
TEL: 087-821-1651
<https://www.kame3.jp/>



香川⑥ うどんをまるごと循環させる!廃棄うどんを「資源」に



プログラムの概要・目的

四国に位置する香川県は、「うどん」がとて有名です。県民1人当たりの年間うどん消費量は220玉と言われ、もちろん日本一。地元でも毎日のように食べられています。香川県内にさめきうどんが食べられる店は800軒以上あるといわれ、美味しいうどんを食べに、全国から人がやってきます。一方で、「客を待たせずにおいしいうどんを提供したい」「讃岐うどんはコシが命で、時間を置いたうどんは出さない」「工場でうどんを製造する工程で、切れ端などの部分が出てしまう」などの理由から、廃棄うどんの量も多く、年間推計6000トン(小麦粉換算)以上ものうどんが廃棄されています。

私たちのプロジェクトはうどん店から日々捨てられているうどんを、厄介な生ゴミとして廃棄処分するのではなく、循環サイクルの環の中に組み入れてリサイクルすることで、さめきうどん店から廃棄物を減らし、持続可能な循環型社会のシステム・モデルを構築しようという取り組みです。実際に見学、体験頂くことで循環の仕組みを知り、持続可能な社会について考えるきっかけになれば幸いです。

プログラムの流れ

- ①うどんまるごと循環プロジェクト紹介(クイズやすごろくで学ぼう)
- ②さめきうどん手打ち体験(食事を含む)
- ③小麦畑訪問(種まき、雑草取り、小麦収穫など季節によって体験可能な場合もあります)
- ④プラント見学(廃棄うどんからバイオガスをとり、発電する仕組みを見ることが出来ます)

①～④を組み合わせることで実施できます。高松市内ですが場所がそれぞれ別なので、各自での移動が必要です。(例:①・②・③・④すべて実施の場合は3か所、①・②・④又は②・④の組合せであれば2か所、①・②の組合せであれば1か所での実施が可能)



【所要時間】
①20分 ②90分
③20分 ④30分
【開催時期】いつでも可能(③については季節によって体験可能な場合があります。)
【開催最少人数】10名～
【開催最大人数】40名(要相談)
【金額】担当までお問合せください。
(手打ち体験料・見学科を含みます。)

■お問い合わせ先
うどんまるごと循環コンソーシアム
香川県高松市香南町西庄941-5(ちよだ製作所内)
TEL:080-3924-7023
E-mail:watatumi_yoyaku@yahoo.co.jp
https://www.udon0510.com/



自分で打つうどんの味は最高に美味しいです。環境配慮の面からもさめきうどんに注目してもらえると嬉しいです。(担当:久米)

香川⑦ 大名庭園のお掃除ボランティア体験と、中津万象園の成り立ちや課題を学ぶプログラム



プログラムの概要・目的

★法人・グループ向けのプログラムとなります。

プログラムの流れ

- ①〈文化財〉であり、〈観光地〉でもある中津万象園は、木々の剪定だけでなく、毎日の安全確認や掃除が欠かせません。その作業を実際に体験してみよう!
※本庭園は文化財となります。老木も多く、丁寧に向き合う必要があるため、作業内容等は庭師の指示に従ってください。
※季節や庭園の状況により内容は異なります。
※人数が多い場合は、複数班に分けて実施をお願いする場合があります。
- ②江戸時代の成立から、明治以降の所有者が転々とした時代、昭和の荒廃した時代～大修復と、意外と知られていない中津万象園の変遷をたどります。また、持続可能な地域づくりにとって大切な〈文化遺産を保護する〉とはどういうことなのか、現在抱えている課題や将来の展望についても、共に話し合ってみませんか。(ご希望により〈大名庭園の未来を考えるワークショップ〉も可)
- ③ご希望の場合は、「丸亀うちわ」型SDGsパートナーシップ宣言証をお渡しします。

【所要時間】 2～3時間
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 特になし
【開催最大人数】 特になし
【金額】 法人の場合: 一律10万円(入場料込み)
教育旅行関係の場合: 一律2万円+入場料

■お問い合わせ先
公益財団法人中津万象園保国会
〒763-0054 香川県丸亀市中津町25-1
TEL: 0877-23-6326
http://www.bansyouen.com/



持続可能な世界を目指して、17の目標と169のターゲットを掲げたSDGs。そのうち、11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」では、〈11-4:世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する〉とあります。また、丸亀市でも【日本版持続可能な観光ガイドライン】に基づき、サステナブルな観光を目指した動きが市及びDMOの主導により始まっています。(セクションC文化的サステナビリティ C1:文化遺産の保護) なお、当財団は特定公益増進法人のため、プログラム費用について税制優遇を受けられる可能性があります。(担当:真鍋)



香川⑧ 1本の竹から生まれる伝統的工艺品と環境問題からビジネス展開へ



プログラムの概要・目的

国の伝統的工艺品に指定されている「丸亀うちわ」は、全国9割のシェアを誇ります。市内では、丸亀城内の「うちわ工房竹」や中津万象園内の「丸亀うちわミュージアム」で製作体験が堪能できます! 400年以上の歴史をもつ「丸亀うちわ」は、江戸時代に金毘羅参詣のお土産品として栄え、丸亀藩の武士の内職に奨励されたことで地場産業として確固たる地位を築き上げました。ただモノを作るのではなく、古より受け継がれた匠の技を体験し、「なぜここ丸亀の地で竹うちわが誕生したのか」、1本の竹から築かれたうちわのあるまち「丸亀」の歴史と現代の持続可能性を高める取り組みを学ぶことができます。(教育効果) 伝統工芸士たちの洗練された技を目の前で体感できるだけでなく、コミュニティ構築に重要な仕組みである「モノづくり⇒人づくり⇒地域づくり」のサイクルを学ぶことができます。また地球環境問題からエコが重要視される中で竹うちわの存在価値や課題解決策などから歴史や時代を後世につなぐ尊さを実感できます。

プログラムの流れ

- うちわの歴史や工程の説明と準備(所要時間約15分)
- 職人にレクチャーを受けながらの体験(所要時間約60分～(個人差あり))
- ※「うちわ工房竹」や「丸亀うちわミュージアム」のキャパシティより大人数の場合、ホテルのバンケットや会議室など別会場で職人の出張による体験も可能です。(事前要相談、出張費・会場費は別途必要)

【所要時間】 1時間半程度
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 1名～
【開催最大人数】 工房竹～10名、ミュージアム～40名
※大人数の場合: ローターションまたは別会場での対応(事前要相談、出張費・会場費別途)
【金額】 1,000円～(通常の体験の場合)



・瞬き禁止の職人技はミリ単位の世界!
・竹という自然の恵みから生まれる様々な作品に施された職人技!
・SDGs関連ポイントに触れることができます!(下記169ターゲット内の主なキーワード) 4.4「技術的・職業的スキル」、4.7「持続可能な開発のための教育(ESD)」、12.2「天然資源の持続可能な管理」、12.5「廃棄物の発生削減」、14.1「海洋汚染を防止」、15.2「森林を回復」、17.17「公的・官民・市民社会のパートナーシップ」

■お問い合わせ先
丸亀市産業観光課
〒763-8501 香川県丸亀市大手町2-4-21
TEL: 0877-24-8816
https://marugamechiwa.jp/



香川⑨ 詫間牡蠣から考える持続可能な里海づくり



持続可能性について考えながら、穏やかな瀬戸内海に浮かぶ牡蠣筏を船で見学します。
(担当：山田)

プログラムの概要・目的

香川県内の牡蠣産地である三豊市詫間町にて牡蠣の作業場と牡蠣筏の見学を行い、持続可能な里海づくりについて考える職場体験プログラムです。

作業場では、作業場の設備と地域の牡蠣養殖事業の歴史に関するカキ養殖事業者からの説明に加え、参加者には季節に応じた作業の体験をしてもらいます。

作業場見学後には、牡蠣養殖事業者の付き添いのもと、船で牡蠣が実際に吊るされている筏に近づき、肥料や薬剤を使わずに、海の栄養のみをもとに成長する牡蠣の姿を見学します。

また、実際に筏のあるところまで見学することで、筏の設置場所が高瀬川の河口域にあり、山と川と海が繋がっていることを体感いただけます。



プログラムの流れ

- 8:50 詫間漁業協同組合共同作業場集合
- 9:00 見学開始・作業体験 (60分)
- 10:00 質疑応答 (30分)
- 10:30 詫間漁業協同組合共同作業場出発・宮ノ下港へ移動
- 11:00 宮ノ下港から牡蠣養殖筏へ向けて船で出発 (牡蠣養殖筏を見学・質疑応答)
- 12:30 宮ノ下港に帰港・アンケートなど
- 13:00 解散

【所要時間】 約4時間 (応相談)
【開催時期】 10月頃～3月頃
【開催最少人数】 5名
【開催最大人数】 20名
【金額】 8,800円

■お問い合わせ先
Wappen合同会社
〒769-1106 香川県三豊市詫間町箱467-2
E-mail: t.yamada@wappen.biz



香川⑪ 瀬戸内海 カヤック&SUP 体験



右の事例は参考例です。実施する内容はご予算・時間・人数等を考慮し、ご相談のうえ決定します。随時ご相談ください。(担当：小前)

プログラムの概要・目的

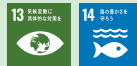
経験豊富なガイドの指導の下、瀬戸内海の自然を全身で感じることができるシーカヤックやSUPの体験プログラムを提供しています。

いずれのアクティビティも瀬戸内の自然をダイレクトに肌で感じる体験を通して、人と海の関わりや、瀬戸内海的环境について学び、しつては参加者自身の身近な環境や暮らしについて考えるきっかけとなります。

プログラムの流れ

カヤックの場合、一度に体験できるのは20名まで。20名以上の団体の場合は、前後半でグループ分けし、カヤックやSUPの他、ロゲイニング、海ごみに関する環境ワークショップ等のアクティビティを交代で実施します(実施内容は団体ごとの相談に応じます)。要望により、無人島「鷺島」で実施することも可能です(運搬にかかる諸経費別途)。

【所要時間】 2時間～
【開催時期】 春～秋
【開催最少人数】 2名
【開催最大人数】 40名程度(要相談)
【金額】 カヤック2時間 6,600円



■お問い合わせ先
フリークラウド
〒769-1410 香川県三豊市仁尾町家の浦383
TEL: 080-3924-9610
<http://free-cloud.jp/tour/group.html>



香川⑩ 森林・竹林整備から学ぶ 森の未来



持続可能な地域づくりについて考えながら行動し、地域の食材を使用したバーベキューでおなかを満たします。
(担当：山田)

プログラムの概要・目的

香川県三豊市の荘内半島で荒れ果てた森林や竹林の整備(里山づくり)を、持続可能な世界を目指す地元の薪ストーブ屋(nle社)、宿泊施設(箱屋・たまた)と共同で実施しています。

本プログラムでは持続可能な森づくりをするにはどうすればいいかをシミュレーションするmoritomirai(<https://www.projectdesign.co.jp/moritomirai/>)というゲームを体験した後に森林・竹林整備体験+薪割り体験+バーベキューを実施します。



プログラムの流れ

- 8:00 集合・moritomirai体験会
- 10:30 休憩・森林整備体験の説明
- 11:00 森林整備体験 (60分)
- 12:00 昼食・バーベキュー
- 13:30 薪割り体験 (60分)
- 14:30 まとめ
- 15:00 解散

【所要時間】 約4時間～7時間 (応相談)
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 3名
【開催最大人数】 10名
【金額】 5,500円

■お問い合わせ先
Wappen合同会社
〒769-1106 香川県三豊市詫間町箱467-2
E-mail: t.yamada@wappen.biz



香川⑫ バイオマス資源化センターみとよ施設見学



ごみは煙突のある工場で燃やして埋め立てるというイメージがありませんか? バイオマス資源化センターみとよでは、日本初の好気性発酵乾燥方式で三豊市の燃やせるごみを固形燃料原料にしてリサイクルしています。微生物の力で環境に優しく、臭気も抑えた新しいごみ処理を学べます。昨今世界規模で問題となっている地球環境問題を解決する「脱炭素化」を実現する施設を見学してみませんか?
(担当：鎌倉)

プログラムの概要・目的

日本初の好気性発酵乾燥方式により、燃やせるごみを固形燃料化のごみ処理施設「バイオマス資源化センターみとよ」の施設見学です。三豊市の、「ごみは資源。燃やさない」という強い信念を条件としたプロポーザルによる公募の結果、この施設が生まれました。

施設では、市内の一般家庭と事業者から集めた可燃ごみを破碎し、微生物の力で生ごみを発酵、分解させ、発酵残渣(紙やプラスチックなど)を固形燃料の原料として送り出すまでの一連の作業を行っています。ごみと混ぜ合わせる微生物は、特別な菌などではなく、発酵処理したごみを循環利用しています。固形燃料は、石炭の代替燃料として、製紙工場に販売します。

ごみを燃やさないことに加え石炭使用量を減らすことで年間約1万トンのCO₂排出削減効果があります。

【所要時間】 1～2時間
【開催時期】 火曜日・水曜日・木曜日
午前の部、午後の部
【開始最少人数】 1組4名以上
【開催最大人数】 1組20名以下 (それ以上は要相談)
【金額】 小中高生は無料



■お問い合わせ先
株式会社エコマスター
〒768-0104 香川県三豊市山本町神田30-1
TEL: 0875-23-6230
<https://biotunnel.net/>



愛媛① 次世代につながる環境学習をしよう!!



バリクリーンは最先端の処理技術により、ごみを適正かつ安定的に処理するだけでなく、ごみを焼却した熱を利用した高効率発電に取り組んでいます。また、災害時には避難所として、地域の防災拠点の役割を果たすなど広くSDGsに貢献するバリクリーンにぜひお越しください。(担当：西坂)

プログラムの概要・目的

バリクリーンは、今治市で発生するごみを最先端の処理技術を用いて適正に処理しつつ、処理の過程で発生するエネルギーの有効活用を図るなど「安心・安全で、人と地域と世代をつなぐ施設」をコンセプトに整備されたごみ処理施設です。実際に施設を見学していただき、リサイクルやエネルギー利用について、より一層理解を深めてもらうプログラムです。(教育効果)

リサイクルやエネルギー利用などバリクリーンとSDGsとの深い関わりを紹介する中で「自分たちができるSDGs」について学習します。

また、実際に施設を見学することで環境にやさしい施設であることや、スポーツなどが楽しむことができる「市民の憩いの場」として活用されている取り組みを見てもらうことができます。

※必ず事前にご予約ください。

※本プログラムは、修学旅行生向けコンテンツになります。

一般旅行者は、施設見学コース(30分)がごございますのでご相談ください。



プログラムの流れ

- 【座学(所要時間40分)】
- バリクリーンのSDGsについて
- 施設紹介動画視聴
- 【施設見学(所要時間50分)】
- 施設見学

【所要時間】1時間半
【開催時期】通年
【開催最少人数】1名
【開催最大人数】120名
【金額】無料

お問い合わせ先

今治市役所環境施設課(バリクリーン内)
〒799-1514 愛媛県今治市町谷甲394
TEL: 0898-48-3601
http://bariclean.jp/



愛媛② 今治自然塾 環境教育プログラム



長い歴史によって築かれてきた環境が、人間の登場によってほんの僅かな時間に変わり、脅かされています。

そんな地球46億年の歴史を、インストラクターのドラマチックな解説で学びます!(担当：矢野)

プログラムの概要・目的

「緑の教室」「裸足の道」「石の地球」「地球の道」の4つのプログラムから構成されています。インストラクターと一緒に地球の構造や歴史、地球に生きる生物の進化を学び、地球環境について、考えていくものです。

今治自然塾では、インストラクターによるわかりやすい説明のもと、自分自身が五感を使って体験することによって環境問題を他人事ではなく、自分自身の問題として考えられる環境を提供します。(教育効果)

「環境問題ってなに?」という難しい問いに、シンプルに答えを出すことのできるプログラムです。

プログラムの流れ

【緑の教室】 私たちの命に必要な酸素と水。そのどちらにも大きく関わっている葉っぱをテーマに楽しくお話していきます。

【裸足の道】 裸足になって目隠しをして、地面を歩きます。視覚以外の感覚で、小鳥の囀りや若葉の匂い等、五感を使って自然を感じます。

【石の地球】 直径1mの地球のオブジェを使い、地球の構造や太陽との関係から、地球が「奇跡の星」であることを学びます。

【地球の道】 46億年の地球の歴史を「460m」の距離に置き換え、地球の壮大な物語と生物の進化を体験します。



【所要時間】2時間
【開催時期】通年(年末年始を除く)
【開催最少人数】応相談
【開催最大人数】応相談
【金額】
一般(高校生以上): 2,100円
小中学生: 1,050円
※今治市在住の方は上記金額の半額

お問い合わせ先

しまなみアースランド
〒794-0051 愛媛県今治市高地町2丁目乙429-1
TEL: 0898-32-5375
https://s-earthland.com/



愛媛③ OZU STORIES 大洲城下町再生の物語



地域の人たちの努力で守ってきた「まち」ですが、まちづくりの沿革や変化の痕跡を遡って探ると非常に面白く、自分自身の暮らしにも何かヒントをもらえそうです。ここで生活している私たち「紡ぎびと」を通して、まちづくりに携わっている「まちびと」と繋がります。まちづくりの現場を歩き、一つ一つ違う顔を持つ建物の呼吸を感じながら、「まち」と濃厚に触れ合うことができます。単純な観光だけでは知られていない地元のストーリーや人と人との交流からしか得られない感動を体験できます。(担当：謝 瑤(シャハン))

プログラムの概要・目的

“紡ぎびと”と呼ばれる案内人とともに、大洲の持続的なまちづくりを深く体験できる特別な旅です。

大洲市は人口減少に伴い空き家が増え、町並みや建物などを維持することが困難になっていました。後世に価値ある地域文化を残すため、町のアイデンティティを守るため、古き良き町並みや歴史的建造物の再生と活用を軸に取り組んだ、大洲市のまちづくり。この旅では、これまでの経緯や活動内容を知り、大洲の今を体験します。

2010年代後半から、大洲の城下町の町並みが一斉に取り壊され、新築や更地化が進む時期がありました。所有者の高齢化や相続、修繕費の増大などで、建物の維持管理が困難になってきたためです。広範囲にわたり大洲の町並みが失われると、城下町の歴史的な景観がなくなるだけでなく、地域のアイデンティティを失いかねません。歴史的建造物の再生・活用はこうした危機感からはじまりました。

歴史的建造物を生かしたNIPPONIA HOTELなどの宿泊・レストラン事業を展開するパリューマネジメント、地域の金融機関である伊予銀行、大洲市の産官金で連携し、のちに大洲市が地域DMOを発足させ、取り組みを進めた結果、2020年からの5年間で再生・活用された歴史的建造物は32棟となり、それらは宿泊施設や店舗などに生まれ変わり、大洲は滞在型観光地になりつつあります。

大洲市は2023年に持続可能な観光地を認定する国際公式承認機関Green Destinationsから文化・伝統保全部門にて世界1位を受賞、また2024年には景観保全や文化財の保護、エネルギー消費量の削減など、大洲市の持続可能な観光地としての取り組みや体制が総合的に評価され、四国で初めてシルバーアワードを受賞しました。これは大洲市の歴史的建造物をまちの人や観光事業者、行政が互いに協力し合うことで町並みを再生したことに対して称するものでした。この賞をきっかけとして大洲市が長年取り組んできた町並みの再生を、地域住民に加え広く国内外の観光客の方にも知っていただくためにこのコンテンツを実施し、ツアー収益の5%を地域内のまちづくりを実施する団体や取組みに寄付しています。本コンテンツ体験することで、観光客もまちづくりの発展に参加できるきっかけとなります。

プログラムの流れ

- ①ガイダンス・導入動画の鑑賞
再生前の町の状況などの概要について動画を鑑賞
- ②再生前の空き家や古民家の現場見学
普段は入ることのできない工事前、工事中の建物の特別見学
- ③再生後の歴史的建造物の内覧
再生された古民家のホテルや店舗を特別見学
- ④「まちびと」との交流
大洲城下町再生に関わった住民や事業者と交流
- ⑤地域貢献
収益の5%を町の保全を行う地域団体に寄付。その他をガイド育成に充当。

【所要時間】2時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】1名
【開催最大人数】10名
【金額】
参加人数によって変動、
1名3,000~8,000円(税込)

お問い合わせ先

一般社団法人キタ・マネジメント
愛媛県大洲市大洲649-1 まちの駅あさもや2階
TEL: 0893-57-6655(大洲観光総合案内所)
E-mail: ozu_tourist_info@kita-m.com
https://jp.visitozu.com/archives/activity/1842



愛媛④ 伝統工芸とSDGs! 裂織り体験「オリコの里・コットン」



プログラムの概要・目的

伊方町がある佐田岬半島はかつて、「陸の孤島」と表現されるほど大変行き来が不便な土地でした。そのような厳しい環境の中で、半島部の人々は物を大切にする「かんべん(儉約)」な生活を余儀なくされました。

貴重な布地を無駄なく再利用でき、また丈夫である裂織りは、そんな暮らしの中から生まれた貴重な民俗文化財であり、「ふるさとの宝物」として後世に伝える活動が行われています。

「裂織り」とは、使い古した布を細かく裂いて緯(ヨコ)糸にし、それを織り込んで新たな布地に再生する技法。いろいろな色が織り混ざるため、全く予想できない色合いに生まれ変わる行程が楽しめます。

日本では東北地方や日本海沿岸の地域で多用されてきた文化ですが、西日本で唯一、しかも四国の陸の孤島と呼ばれた半島のみで広まったのは大変貴重な事例とされています。

この伝統工芸の織物体験を通じて再利用の大切さを知り、SDGsの精神を体験してみてください。



プログラムの流れ

- ① 裂織りの歴史、織機・裂いた布についての説明
- ② 織機を使って裂織り作りを見学、もしくは体験(様々な色が徐々に混じり、深みのある色彩に変化する過程が実感できます)
※1時間コースでは、見学中に織機「ちよつぱり体験(一部の人)」ができます。
- ③ 完成(終了)

【所要時間】約2時間
【開催時期】通年
(年末年始・お盆を除く)
【開催最少人数】2名
【開催最大人数】30名
【金額】1,500円/2,500円

お問い合わせ先

佐田岬裂織り保存会 オリコの里「コットン」
愛媛県西宇和郡伊方町大佐田 TEL: 090-2783-8357

注) お問い合わせについては、一般社団法人 佐田岬観光公社(下記)でも受け付けております。

一般社団法人 佐田岬観光公社
〒796-0801 愛媛県西宇和郡伊方町三崎1700番地11 伊方町観光交流施設 佐田岬はなはな観光案内所内
TEL: 0894-54-2225 E-mail: master@sadamisaki.com https://www.sadamisaki.com/



- ・2時間コース(個人向け)2名~11名まで2,500円
テーブルセンター作り(完成品持ち帰り可能)
- ・1時間コース(団体向け)8名~30名まで1,500円
テーブルセンター作りを見学、ちよつぱり体験
(完成品の持ち帰り不可) (担当: 小林)

愛媛⑥ 日本一の凧あげ体験



プログラムの概要・目的

今から約400年前の江戸時代に凧あげは縁起物として全国各地で流行しました。風が少なくない地形の小田川周辺(旧五十崎町地区)でも上手に凧があがるように研究を重ね凧を軽くした結果、内子町の凧は「日本一あがりやすい凧」と呼ばれるようになりました。江戸時代から現代に至るまで脈々と受け継がれ、毎年5月5日に行われる凧のお祭り「いかざき大凧合戦」は愛媛県の無形民俗文化財に指定されています。高級竹細工にも使用される、希少価値が高い内子町産天然伊予竹から、凧づくりの職人が全て手作業で加工した竹ひごと、内子町に拠点を置く和紙漉き工場で作られた経済産業大臣指定伝統的工芸品である大洲和紙を使用しておりますので、和紙漉きと竹細工という日本古来の伝統的産業を学んでいただきながら、そこから生まれる伝統的玩具を体験することで江戸時代の生活の様子を追体験できるプログラムとなっております。無形民俗文化財や伝統的工芸品を受け継いでいくことの大切さを内子町の凧あげを通して学び、自分たちが住む町の歴史や文化に興味を持ちシビックプライドを高めていく効果があります。※凧はお土産としてお持ち帰りいただけます。



プログラムの流れ

- ◎凧作り体験
 - ・凧の組み立て
 - ・絵付け
- ◎凧あげ体験
 - 五十崎凧博物館見学
(ガイド付:海外と全国から収集した凧の解説、凧の歴史について、いかざき大凧合戦および五十崎凧の説明を行い各地に残る伝統・文化・歴史について学んでいただきます。)

【所要時間】応相談(1時間30分~3時間で調整できます)
【開催時期】通年
【開催最少人数】1名
【開催最大人数】20名
【金額】2,000円~3000円
(所要時間によって変動します)

お問い合わせ先

五十崎凧博物館
愛媛県喜多郡内子町五十崎甲1437
TEL: 0893-44-5200 E-mail: takohaku@town.uchiko.ehime.jp
https://www.town.uchiko.ehime.jp/site/takohaku/



江戸時代に禁止令が発令されるほど大人気だった遊びである凧あげを当時の姿のまま楽しむことができる歴史体験プログラムであり、地産地消や伝統産業にふれることでシビックプライドの向上に繋がることが期待されます。(担当: 大角)

愛媛⑤ 海の環境の大切さを学ぶ! 海洋プラスチックを使ったアクセサリ作り体験



プログラムの概要・目的

海洋プラスチックを素材にして、世界に2つと無いオリジナルのアクセサリ(キーホルダー)を作ります。

世界中で問題となっている海洋ごみは、海の生き物の命や健康だけでなく、人の健康にも悪影響を及ぼしています。そのごみの由来は、街で発生したものが7~8割とも言われており、海の環境を守るためには一人一人の意識や行動を変えていくことが大切です。

伊方町がある佐田岬半島は「日本一細長い半島」として知られ、伊予灘と宇和海に挟まれた地形上、海岸には多くの海洋ゴミが漂着しています。漂着したゴミは目で確認できますが、海底にも膨大なゴミが沈んでいると言われて、マイクロプラスチックの問題も指摘されています。

体験で使用するプラスチック片は、伊方町の海岸等で集めたプラスチックゴミを洗浄、分別、裁断したものを使用しています。このプラスチック片が出来上がるまでには、かなりの時間と労力がかかっており、ゴミに対する考え方を直すきっかけになるでしょう。

アクセサリ作りを楽しんでもらいながら、海でどんな問題が起こっているのかを知ってもらうことで、海の環境への興味や関心を持ってもらうきっかけにいただければと思います。



プログラムの流れ

- ① 海の環境およびプラスチックゴミを代表するような問題についてのレクチャー
 - ② 海洋プラスチックを使ったアクセサリの作成方法を説明
 - ③ 製作体験
 - ④ 佐田岬半島ミュージアムを見学(※)
 - ⑤ 終了
- ※体験会場を「佐田岬半島ミュージアム」にて行う場合。

【所要時間】約90分~2時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】8名
8名以下をご希望の場合は、お問い合わせください
【開催最大人数】30名
30名以上をご希望の場合はお問い合わせください
【金額】2,300円~

お問い合わせ先

一般社団法人 佐田岬観光公社
〒796-0801 愛媛県西宇和郡伊方町三崎1700番地11 伊方町観光交流施設 佐田岬はなはな観光案内所内
TEL: 0894-54-2225 E-mail: master@sadamisaki.com
https://www.sadamisaki.com/



楽しく自分だけのオリジナル・アクセサリを作りながら、海の環境のことを学ぶことができます。体験を通して海の環境問題に関心を持ってもらい、普段の生活の中でも意識してもらいたいと考えております。プログラムは「レクチャーと体験」となっておりますが、時間があれば海岸の視察や清掃活動、アクセサリの原料となるプラスチックゴミ回収の体験も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。製作体験は基本的に、2つの海が同時に見ることが出来る「佐田岬半島ミュージアム」にて行います。会場の関係上、30名以上になると別の場所で行う可能性もありますので、体験金額と併せてご相談ください。(担当: 民法)

愛媛⑦ 五感で学ぶSDGs!



プログラムの概要・目的

西日本最高峰石鎚山の南麓に位置し、国指定名勝地である面河渓谷を有する面河地区。面河渓は、手つかずの自然が織りなす自然のダイナミックさを五感で感じることでできる



スポットです。自然の力でできた亀腹(一枚岩)は、面河渓を代表する絶景スポットとなっております。また、四国唯一の山の博物館である面河山岳博物館では動植物から歴史を学ぶことができ、過去から現在そして未来を想像し持続可能な環境保全・町づくりを学ぶことができます。

プログラムの流れ

- 【面河渓谷をガイド付きで学ぶ】
- 手つかずの自然が織りなす絶景について
- 一枚岩(亀腹)がどのようにできたのか
- 水はなぜエメラルドグリーンなのか
- 渓泉亭(当時では珍しい建造物)全ての部屋が1種類の木で造られた建造物であること
- 【面河山岳博物館で学ぶ】
- 学芸員による歴史と動植物の生態・生物多様性について

【所要時間】3時間
【開催時期】春季~秋季
【開催最少人数】2名
【開催最大人数】30名程度
【金額】一般(高校生以上): 300円
小中学生: 150円

お問い合わせ先

一般社団法人久万高原町観光協会
〒791-1202 愛媛県上浮穴郡久万高原町入野1855-6
TEL: 0892-21-1192
https://kuma-kanko.com/



現在問題になっているシカ問題などから、SDGsについて考えることができるプログラムとなっております。(担当: 山之内)

高知① 四万十川とトンボから考える「自然」と「人」との共生のかたち



かつて共存していた自然や生き物を再発見することで、四万十川が流れるこの土地に根付いた自然と人が共に暮らすという文化は、昔の生活様式からつながっていることを知り、「里山」から流れてきた水が「川」から「海」へ注いでいくストーリーを学ぶことで、自分たちが大人になり次の世代へ美しい形でバトンを渡すためにこれから何が出来るかを考えるプログラムです。
(担当：東)

プログラムの概要・目的

「そっとしておけば優れた自然環境はずっと良好な状態が保たれる」と思われていますが、実は、生物多様性に優れた日本の里山環境は、人手を加えることが不可欠なのです。ここは世界初の本格的トンボ保護区で、トンボを題材に里山の生態系について学びます。



プログラムの流れ

- 【座学〈所要時間20分〉】
○トンボと自然を考える会の活動について
【フィールドワーク〈所要時間60分〉】
○活動の手伝い(季節により異なる)
●ミドリガメ捕獲、タニシのタマゴ落とし、イネ科の植物抜き等々
○生き物探しゲーム/レベル5
【座学・見学〈所要時間80分〉】
○まとめの講義
○生徒から感想や目標などの発表
○館内見学
○生き物探しゲーム表彰式

【所要時間】3時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】20名
【開催最大人数】80名(80名以上は要相談)
【金額】3,500円～



■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL: 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/91>



高知③ 生物多様性の宝庫「柏島の里海」から学ぶ「森・川・海」のつながり



豊かな森から流れてくる栄養豊富な水が、多種多様な生き物が生息する豊かな海を作る一方で、私たちが暮らしている所から流れ出たゴミが海へ行き着き、海の環境や生態系を破壊している事実もあります。このような森と海の密接なつながりから、「自然の恵み」と「自然環境に及ぼす影響」を考えることで、自分たちが大人になり次の世代へ美しい形でバトンを渡すために、今からでも出来ることは何かを楽しく学ぶプログラムです。
(担当：東)

プログラムの概要・目的

柏島を海のフィールド・ミュージアム「島がまるごと博物館」と捉え、環境教育(里海教育)、環境保全、地域の活性化など、持続可能な「里海」モデルをこの地に作る活動を行っている黒潮実感センターで、山・川・海のつながりや、海の生き物のこと、人々の暮らしと海との関係について学び、考え方を深めます。



プログラムの流れ

- 【座学〈所要時間30分〉】
○黒潮実感センターの活動と「森・川・海」のつながりについて
【フィールドワーク〈所要時間90分〉】
○浜辺の宝物探し
●微小貝の生息を確認
※微小貝とは、綺麗な海に生息する1cm以下の貝の総称です
○漂着物調査(リストを基に集計し傾向を調査)
●仕分係、集計係、記録係、写真係など、1チーム5～6人で構成
【座学〈所要時間30分〉】
○まとめの講義
○生徒から感想や目標などの発表

【所要時間】3時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】15名
【開催最大人数】40名(40名以上は要相談)
【金額】4,950円～



■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL: 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/114>



高知② 過去から未来へつなげる 足摺宇和海国立公園の豊かな自然環境と生態系



「潮だまり」の中にある豊かな生態系を支える小さな生き物たちの観察と、「SATOUMI」で竜串湾に生息する魚類や国立公園の環境を学ぶことで、豊かな森林から流れ出る河川がたどり着く海も豊かになることを知り、自分たちが大人になり次の世代へ美しい形でバトンを渡すために、これから主体的に何が出来るかを考えるプログラムです。
(担当：東)

プログラムの概要・目的

日本初の海域公園である、竜串海域公園に位置し、砂岩が波や風により浸食を受けて形成された海食大地の中にある「潮だまり」では、豊かな生態系を支える小さな生き物たちの暮らしが見えてきます。SATOUMIでの国立公園の自然や魚類の学びとあわせて、あらゆるいのちは海とつながり、海と共に生きていることを学びます。



プログラムの流れ

- 【座学〈所要時間60分〉】
○国立公園の自然環境や竜串海岸の生態系について
○「SATOUMI」ガイドツアー
※山→川→海→深海→GOAL
【フィールドワーク〈所要時間60分〉】
○竜串海岸
●潮だまりツアー(ジオガイド)
※地層の成り立ち→海岸植生/生き物観察
【座学〈所要時間30分〉】
○まとめの講義
○生徒から感想や目標などの発表

【所要時間】3時間
【開催時期】通年
【開催最少人数】5名
【開催最大人数】40名
【金額】3,850円～



■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL: 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/98>



高知④ 過去からの想いを未来につなぐ宿毛市の果樹栽培



代々維持してきた山(農園)で、毎年高品質の果物を作り、消費者に安心安全で美味しい果物を届けるためには、休むことなく人が手を入れ続けることや、気候変動への対応が必要不可欠です。ミカンなどの果物を作る側の責任や苦労、想いを学ぶことで、農家が将来も持続可能な果樹栽培が続けられるよう、消費者側では何が出来るかを考えるプログラムです。
(担当：東)

プログラムの概要・目的

祖父の代から受け継がれ維持してきた山は、生物多様性に優れた日本の里山環境の維持と同じく、人の手を加えることが不可欠です。宿毛市の果樹園が育てるミカンなどの果物を題材に、農家の想いや苦労、日々の作業が食の安心安全につながっていることや、持続可能な果樹栽培について学びます。



プログラムの流れ

- 【座学・見学〈所要時間60分〉】
○果樹園の年間作業、代々続く山の維持や果物への想い
○選果場見学(季節によって作業の手伝い)
【フィールドワーク〈所要時間90分〉】
○農園作業の手伝い(季節により異なる)
●剪定・除草、受粉、袋掛け、徐袋、収穫など
【座学〈所要時間30分〉】
○まとめの講義
○生徒から感想や目標などの発表

【所要時間】3時間
【開催時期】5～6月、10月～11月
【開催最少人数】15名
【開催最大人数】40名
【金額】3,850円～



■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL: 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/366>



高知⑤ 砂浜美術館のコンセプトから描く私たちの未来のデザイン



流れ着く漂流物、波と風がデザインする砂紋、はだしで走り貝殻を探す子どもたちの姿など砂浜にある自然や風景と、自然と上手につきあひながら暮らす人々の営み、古くから地域に伝わる生活の知恵、そこから生まれるモノなど自然と共に生きる町の日常から、人と自然のつきあい方を学ぶことで、自然と共生していくために、私たちが未来に向けてできることは何かを考えるプログラムです。

プログラムの概要・目的

町のありのままの風景を美術館と考え、そこにある豊かな自然とそこに暮らす人々の営みを、見方をかえたり想像力を働かせたりしながら「作品」として楽しむ砂浜美術館。その考え方を学ぶとともに、浜に流れ着いた漂流物を拾い自由な発想で「作品」を作ることを通して「未来をデザインすること」を学びます。

プログラムの流れ

- 【座学〈所要時間45分〉】
○NPO砂浜美術館の考え方や活動について
【フィールドワーク〈所要時間90分〉】
○入野海岸周辺でのビーチコーミング・作品づくり
• 浜に流れ着いた、流木や貝殻など自然のものや人の手によるプラスチックなどの漂着物から、環境問題を考えたり、ロマンを感じたりしながら自由な発想で作品を作る
【座学〈所要時間40分〉】
○まとめの講義
○出来上がった作品と目標などの発表

【所要時間】 3時間
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 15名
【開催最大人数】 80名
(80名以上は要相談)
【金額】 3,850円～

■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL : 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/363>



高知県 黒潮町

高知⑥ 防災学習プログラム —命を守る—



津波タワーへの避難訓練と同時に備蓄品の点検や追加など、日頃から防災への高い意識を持つ人々の取り組み等について学習し、事後学習では自分が暮らす地域に潜んだ災害リスクについて自発的に学びきっかけができ、命を守る行動の大切さを学ぶことができるプログラムです。

プログラムの概要・目的

黒潮町は34mという日本一の津波に襲われることが想定された町です。自然は恵みを与えとともに、時に大きな災いをもたらします。このプログラムは、自分の命は自ら守ることの大切さに気付く防災学習です。

プログラムの流れ

- 【座学〈所要時間30分〉】
○防災の取り組みについて
【フィールドワーク〈所要時間60分〉】
○過去の津波の歴史を石碑から学ぶ
○津波避難タワーへ避難訓練
○備蓄品の確認や避難時のスペースを体験
【座学〈所要時間30分〉】
○ワークショップ、グループごとにまとめを発表
○避難食の試食
○まとめの講義

【所要時間】 2時間
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 5名～
【開催最大人数】 100名
(100名以上は要相談)
【金額】 2,200円～

■お問い合わせ先
一般社団法人幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10-20
TEL : 0880-31-0233
<https://koiki.hata-kochi.jp/experience/72>



高知県 黒潮町

高知⑦ 日本唯一の津波避難シェルターを活用した環境・防災学習



環境防災学習では、各地点で専門のガイドさんがいるので、より専門的な知識が学べます。また、室戸の地形から見る災害だけでなく、受講している学校の周辺の地形・地質から想像される災害を考える時間もあるため、その後の防災学習につなげやすく、室戸ジオパークには地球科学の専門員がいるので、学校が提供したい学習に柔軟に対応できるのも特徴の一つです。

■お問い合わせ先
室戸ジオパーク推進協議会
〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町1810-2
TEL : 0887-22-5161
<https://www.muroto-geo.jp>



プログラムの概要・目的

室戸市は室戸ユネスコ世界ジオパークに認定されており、重要な価値を持つ地質を保全しつつ、観光や教育、まちづくりに活用しています。昔、室戸半島は海の底にあり、地震などの地球の動きによって今の室戸が形成されました。本プログラムでは、地球の動きによっておこる地域の自然災害と災害に備えるために、3つの地点を回りながら学びを深めます。

プログラムの流れ

- ①室戸岬で専門ガイドによる実地研修
(所要時間約50分)
室戸岬で見える景色の背景にある地球のストーリーを解説します。
②室戸世界ジオパークセンターでの座学
(所要時間約30分)
室戸ジオパークに所属する地球科学の専門員より、自然災害がもたらす災害と恵みの解説をします。
③都呂津波避難シェルターの見学
(所要時間約30分)
専門ガイドと一緒に日本初の津波避難シェルターで避難を想定しつつ見学します。

【所要時間】 3時間前後
【開催時期】 通年
【開催最少人数】 10名
【開催最大人数】 120名
【金額】 3,000円



高知県 室戸市



高知⑧ 室戸ユネスコ世界ジオパーク 海洋環境実習



この実習では、① 海と人間のつながり、② 海の豊かさ、③ 海を守るためにできること、④ 海洋ゴミ問題の実態を学ぶことができます。実習を通して、参加者が海の問題を自分事として捉えるきっかけを作ります。またプログラムではワークシートをご用意しています。参加者が学校や家庭に帰ってから、事後学習、追加学習が可能です。実習の内容は地球科学の専門員が監修しており、学校側のご要望に応じて、プログラム内容は柔軟に変更できます。

■お問い合わせ先
室戸ジオパーク推進協議会
高知県室戸市室戸岬町1810-2
TEL : 0887-22-5161
E-mail : info@muroto-geo.jp
<https://www.muroto-geo.jp>



プログラムの概要・目的

四国で唯一のユネスコ世界ジオパークが提供する教育・体験プログラムです。会場となる室戸世界ジオパークセンターのすぐ目の前にはひらけた海岸と水平線が広がっています。参加者は室内での講義や、海岸での実習を通して、海の問題と私たち人間のつながりについて体感し、学ぶことができます。

プログラムの流れ

- ①海のお話 (屋内: 15分)
海の問題と私たちのつながりについて解説します
SDGsってどんな意味?海の問題はどうして大事な?マイクロプラスチックはどんな影響があるの?
②磯の生き物観察 (屋外: 1時間)
インストラクターに教わりながら、潮だまりの生き物を観察します。
③「室戸海洋深層水アクアファーム」見学(屋内:1時間)
室戸岬の海洋深層水の味見や実験でその特徴を学び、タッチプールで深海生物を間近に観察します。
施設見学を通して、室戸の海が豊かであるヒミツに触れます。
④ゴミ拾い競争 (屋外: 30分)
参加者はチームに分かれて海岸でゴミを拾い、ゴミの重量を競います。
⑤マイクロプラスチック拾い出し(屋外:10分、屋内:1時間)
インストラクターと一緒に、海岸で砂を採取し、室内に持ち帰って、顕微鏡でマイクロプラスチックを観察します。

【所要時間】 2時間～ 3時間半
【開催時期】 真夏のぞく通年
【開催最少人数】 5名 (5名未満の場合要相談)
【開催最大人数】 70名
【金額】 3,300円～



高知県 室戸市

